喫煙ブース、空気清浄機、商業施設向け椅子などの製造

エルゴジャパン

快適に過ごせる喫煙環境を実現

福田氏

エルゴジャパンが開発した高性能喫煙ブース「SMOKE CLEAR（スモーククリア）」は、飲食店を中心に支持を集め、業界最多クラスの3千台以上の導入実績を誇る。

2020年4月に施行された改正健康増進法により、店内での喫煙が原則認められなくなり、旅館・ホテルなどは分煙エリアを新設するなどの対策を図っている。「飲食の場で喫煙を希望する人は多くいるため、タバコを吸う人、吸わない人が快適に過ごせる喫煙環境"クリア分煙"を実現するスモーククリアを活用して集客力の向上に努めてもらえれば。導入後のタバコのクリア分煙の効果に関する顧客満足度調査では、満足が88・5%、費用対効果の満足は77・1%を記録した」と本部長の福田裕二氏。

フィルターで有害物質を処理し、浄化された空気を室内に循環させる内部排気式のため、ダクト工事不要。天井高が2・2㍍以上あれば設置可能。

本体空気清浄ユニット部分には、高い性能を誇るHEPAフィルターをはじめとする多層フィルター構造を採用したことで、「ウイルスを99・995%以上除去。同時に、厚生労働省が定める技術的基準を全てクリア」したという。最高性能でありながら、ローコスト。

また、本体内部の壁面全体でタバコの煙を吸引する仕組みで、喫煙者の髪の毛や衣服が煙臭くなることなく、外に漏れ出す心配はない。

ほかにも人感センサーを搭載し、人の出入りを感知して、空気清浄運転を開始する。LEDライトも自動的にオン、オフに切り替わるため、消費電力を抑制。

製品ラインアップは1人用、2人用、4人用のほか、天井高2・2㍍、通路幅1・4、1・6㍍に設置可能な「スマートミニ」も取りそろえる。

併せて、スモーククリアと一緒に、スリムで使いやすい高さの自然消煙灰皿「ニードル」の使用を推奨している。

スモーククリア

【本社】〒141－0032東京都品川区大崎1の6の4　新大崎勧業ビルディング7F　【創立】1988年
【事業内容】喫煙ブース製造、空気清浄機製造、商業施設向け椅子などの製造、パーソナルボード製造、飛沫防止パーテーション製造ほか
【資本金】5000万円　【従業員数】40人

配膳ロボットほか自動認識関連機器の販売など

アイテックス

人とロボットで新しいおもてなし

アイテックスは、バーコードリーダーの専門商社として、2001年に設立。近年では、顔認証チェックシステムやソフトウェア分野にも進出し、アイデアと技術で、ソリューションカンパニーへの道を歩み続ける。

昨年12月からは、世界60カ国に導入されている配膳ロボット「BellaBot（ベラボット）」を含む各種ロボットの取り扱いを始めた。「人とロボットの連携で、働き手不足の解消とともに、新しいおもてなしに貢献できれば」と営業部長の倉石康男氏。

ベラボットは、本体に可愛らしい猫の表情を施したスタイリッシュなデザインが目を引き、「子どもなど来館者の興味をそそり、非日常空間の演出に一役買う」と倉石氏。また、AI音声機能や触覚機能を備え、スマートDX化を図れる。

縦41×横50㌢の4段トレーを搭載し、重さ40㌔の料理を1度に運べ、最大で4カ所のテーブルまで配膳可能。そのため、単純作業をベラボットに任せて、スタッフはサービスに注力でき、顧客満足度の向上にも期待できる。同時に、ロボットの特性上、急な欠勤の懸念もなく、安定的な労働力の確保につながるという。

ほかにも、独自のSLAM技術で、自律的に安全かつ効率的な走行を実現。加えて、3Dカメラや赤外線センサーも実装され、位置補正を行いながら人や障害物を回避する。

同社では、スマートウォッチでいつでもロボットを呼べる呼び出し機能付きの配送ロボット「HolaBot（ホラボット）」の活用を推奨する。

主な特徴は、60㌔の搭載重量、120㍑の超大容量、四つの大容量トレーで、1回の作業で複数のテーブルを片付けられる。

併せて、配膳ロボット業界で初めてIPX5（防水レベル）に達した内部キャビンを搭載し、マシン本体を清潔に保つ。

BeellaBot（左）とHolaBot

【本社】〒136－0075東京都江東区新砂1の6の35　Nビル東陽町7F　【創立】2001年1月29日
【事業内容】自動認識関連機器ハードウェアおよびソフトウェアの企画、開発、販売、バーコードリーダー、ハンディターミナル、プリンター、サーモグラフィーの販売
【資本金】1000万円　【従業員数】15人

旅館ホテル向け総合サービス業

お宿応援隊

あらゆるサービスで宿に寄り添う

旅館ホテルの多様なソリューションに対応しているのが、お宿応援隊だ。「今年で14のサービスになりました」と語るのは、女性スタッフを束ねるマネージャーの田村容子さん。田村さんがお宿応援隊へ入社した2年前は、2人の取締役が、会社の基本サービスである旅館ホテル運営全般のアドバイス「宿KAIZEN」で東奔西走していた。

その後、旅館ホテルの現場から見えてくる課題に即応すべく多様なサービスが生まれたという。倉庫に眠る不要品を売買するプラットフォーム「宿KOMONO」、人材育成サービス「お宿気づき塾」、営業のBPO事業「宿えらび」、人手不足を改善するために開発した「宿しごと」など。「サービスの名前を覚えるだけでも大変でした」と田村さんは笑う。旅館・ホテルには、その宿、その時によって多様なソリューションがあり、お宿を応援するという社名にちなんだ対応は、全国の旅館・ホテルへ広がりを見せている。

お宿応援隊のサービスは、この他にも、100%に近い採択率を誇る補助金申請サポート「宿助け」や仕入経費の適正化サービス「宿しいれ」、お宿応援隊のクライアントが協業する「お宿旅倶楽部」など、言わばかゆいところに手が届くサービスを展開している。女性スタッフたちと楽しみながら創っている、働く女性応援サイト「若女将ドットコム」が一番楽しい仕事と語る田村さんは、「代表が旅館ホテルから持ち帰ってくる課題は今後も尽きないと思います」。

「そう考えれば、われわれの事業拡大はクライアントである旅館・ホテルへの応援ではなく、旅館・ホテルから応援されて成り立っていると考えるべきですね」と。「これで終わり」と言いながら、14ものサービスを生み出す指示を出した代表とそれに対応するスタッフの間で田村さんの激務は、しばらく続きそうだ。

ホテレスでのブース展示

【本社】大阪府交野市南星台1の10の15
【事業開始日】2017年10月1日
【事業内容】旅館ホテル向けサービス業